



桶ヶ谷沼とトンボの観察会

平成29年5月20日(土)

9:30~11:30

今年は8種のトンボ確認!!

ユネスコ科学教室「桶ヶ谷沼とトンボの観察会」は、五月二十日(土)の午前、晴天に恵まれた気持ちの良い新緑の中、昨年に引き続き、磐田市桶ヶ谷沼ビジターセンターに、二十九名(園児一名・小学生一名・中学生九名・高校生五名・大人四名・会員九名)の参加者が集まりました。

桶ヶ谷沼は磐田市の東部、磐田原台地の東縁にある周囲1.7km、広さ約7.4畝の沼です。多くの動植物が確認されており、中でもトンボの種類の多いことで全国的に知られています。沼とその周辺は、静岡県自然環境保全地域に指定されています。

日本には約200種のトンボが生息していますが、桶ヶ谷沼ではその内70種、他に野鳥164種、植物650種が確認されています。

観察会では講師を磐田市桶ヶ谷沼ビジターセンターの細田昭博所長にお願いして、最初に視聴覚室でベッコウトンボの解説を受けました。そして、散策路から観察小屋、途中ではカネコトタテグモが住む観音開きのドアのある横穴を観察し、沼の北側のベッコウトンボ「保護用のいけす」でトンボを観察しながら、

視聴覚室に戻って、今日見ることでできたトンボと生き物を発表しました。最後に、本日の感想を書いていただきました。

“確認されたトンボと生き物”

ベッコウトンボ、シオカラトンボ、シヨウジョウトンボ、モノサシトンボ、ヨツボシトンボ、ハラビロトンボ、コフキトンボ、クロイトトンボ、カネコトタテグモ、ムカデ、ガの幼虫、キハゲハの幼虫、ツマグロヒヨウモン、ヒメウラナミジャノメ、ツバメシジミ、ヤマトシジミ、クロヤマアリ、

《参加した子どもたちの感想》

「はじめてベッコウトンボを見ました。飛ぶのがとても早いと思いました。磐田で大切にされてきているベッコウトンボをこれから磐田の誇りとして守って行きたいです。」
 「近くで、いろいろな種類のトンボを見たのは初めてだったのでとても楽しかったです。もっと詳しくトンボについて調べてみたいくなりました。」